

# めぐみイエス・キリスト教会

2023年5月7日(日)第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第656号」



2023年標題聖句

第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌420「雨を降り注ぎ」	p. 676
【交読文】	No.30 詩篇第96篇	p. 903
【賛美Ⅱ】	新聖歌416「聖霊来たれり」	p. 668
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲No.1「聖霊の風」	
【聖書朗読】	使徒の働き25章1節～12節(新約p. 287)	
【礼拝説教】	《パウロとフェストゥス》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

### ●ポイント1「ローマ総督フェストゥス」とは？

■フェストゥス フェリクスの後任としてローマのユダヤ州の総督に任命されたポルキウス・フェストゥス。ヨセフォスによれば、彼は、前任者のフェリクスと比べ、賢く、しかも実際的な人物であったと言われる。彼のことはあまり良く記されていない。

パウロの件について、フェストゥスは敏速に行動し、またパウロの無罪を確信していた。しかし、ユダヤ人の歓心を買おうとし

ていた。パウロはカイザルに上訴したが、それはフェストゥスに対する非難を表していると言える。そこでフェストゥスはパウロの件をヘロデ・アグリッパに委ねた。彼は総督の任についてから2年後に没し、紀元61年にアルビヌスが後任となった。

### ●ポイント2「ユダヤ人のパウロ暗殺計画」とは？

#### ※使徒の働き23章30節「千人隊長リシアの書状」(新約p.285)

23:30「しかし、この者に対する陰謀があるという情報を得ましたので、私はただちに彼を閣下のもとにお送りします。なお、訴えている者たちには、彼のことを閣下の前で訴えるように命じておきました。」

### ●ポイント3「パウロがローマに行くことになる預言」とは？

#### ※使徒の働き19章21節「第1回目エペソにおいて」(新約p.274)

19:21 これらのことがあった後、パウロは御霊に示され、マケドニアとアカイアを通過してエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

#### ※使徒の働き23章11節「第2回目アントニア要塞」(新約p.283)

23:11 その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことを証したように、ローマでも証しをしなければならぬ」と言われた。

#### ※ローマ人への手紙8章23節「使徒パウロの勧め」(新約p.310)

8:28 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

## ◎先週の礼拝メッセージ【主はいやし主】

《今年も第五主日には、特別メッセージを予定しています。今回から「癒やしシリーズ」として語らせていただきます。主イエス様は、最後の晩餐において、使徒たちにこのように約束されました。

『「また私は、あなたがたが私の名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが、私の名によって何かを私に求めるなら、私がそれをしてあげます。」(ヨハネ14:13～14:14)』と。

そして、復活された後にも、主は再度使徒たちに約束されました。『「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし信じない者は罪に定められます。信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、私の名によって悪霊を追い出し、新しい言葉で語り、その手で蛇をつかみ、たとえ毒を飲んでも決して害を受けず、病人に手を置けば癒やされます。」(マルコ16:15～16:18抜粋)』と。

また、エルサレム教会初代牧師であった主の兄弟ヤコブは、私たちに、このように勧めています。『信仰による祈りは、病んでいる人を救います。主はその人を立ち上がらせて下さいます。もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。ですから、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くとき大きな力があります。(ヤコブ5:15～5:16)』と。

聖書は一言一句誤りなき神の言葉です。正しい教理を学ぶことはもちろん必要ですが、幼子のように単純に主イエス様の語られたみ言葉を信じることは、非常に大切なことです。単純な信仰は、主に喜ばれます。主はいやし主です。今も生きておられ、いやしを行なわれます。まさしく、真の神様として、ご栄光を現わして下さるのです。》

## ◎お知らせ

※次回第二主日礼拝は、5月14日(日)午前10時からです。5月28日は、ペンテコステ(聖霊降臨日)礼拝となります。